

第十二回句会 俳句

【高点句】

☆雷神の一喝ありて街止まる

〈童心〉

☆夕さりの山むらさきに河鹿鳴く

〈眞澄〉

☆飲み切りし名残に鳴らすラムネ玉

〈静〉

【各自一句】

・帰省子にあれこれ聞きて疎まるる

〈明美〉

・ビール干す盛り上がりたる武勇伝

〈隆司〉

・夏の宵無音の稲妻山光る

〈青蛙〉

・冷や酒やイカさえあればそれでいい

〈莫院〉

・老ひてなほ少し気どりて夏帽子

〈童心〉

・淡々と聞きしことばや熱帯夜

〈千恵〉

・ビール飲んだか一人暮らしの二十歳の日

〈安津子〉

・乾杯のビールが嫌いとは言えず

〈撫子〉

・一湾の墨絵ぼかしの涼しかり

〈静〉

・おしぼりを差し出されたる円座かな

〈きさ〉

・日の盛り母子喘ぎつつ黙しつつ

〈一馬〉

・鬼籍より抜け出て来よと冷酒くむ

〈眞澄〉

*以上、35句（3句ずつ11名、2句1名）より、選句は16名による

*高点句は、高得点の句より3句（同点の句がある場合は、第三位の句迄）

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による